



2016年(平成28年)8月1日 No.205

編集・発行

西日本ビル株式会社「杜のたより」編集室
 〒838-0020 朝倉市美奈宜の杜 5-12-20
 TEL 0946-21-1717 FAX 0946-21-1721
<http://www.minaginomori.com>

お問い合わせ資料請求は下記アドレスへ
info@minaginomori.com



無料体験宿泊所「木木庵」は街の中の一軒家。街の暮らしを見るには絶好の場所にあります。



和室とはガラリと雰囲気の違うベッドルーム。

宿泊者には
 街内や宅地・中古住宅
 をご案内し、希望者は
 サークル見学へ
 ご案内いたします。



山林を望む浴室で何度も温泉を楽しめます。



和風旅館のようなエントランス。

美奈宜の杜での
 暮らしをご検討中の皆さまへ

温泉付き無料体験宿泊所 **「木木庵」で 美奈宜の杜の1日を 体感しませんか**

美奈宜の杜をもっと知りたい！ そんな方はこの夏休み、無料体験宿泊しませんか。お薦めの宿泊所は、温泉付きで人気の「木木庵（もくもくあん）」。純和風建築のすてきな温泉付き一戸建てで、自然豊かな“杜の暮らし”を満喫してください。



石庭を望める和室。キッチンは一段下がる京風の造り。

「木木庵」無料体験宿泊のご案内

- 最大6名様まで宿泊可能。
- 原則1泊2日ですが、2泊3日、また2度目のご利用も可能です。
- 当社スタッフによる美奈宜の杜のご説明、宅地・中古住宅のご案内をいたします。
- 美奈宜の杜の宅地または中古住宅購入ご検討のお客様を対象とさせていただきます。
 (観光・旅行目的でのご利用はご遠慮ください)

<常備しているもの>

- アメニティ関連／浴衣、バスタオル・フェイスタオル、歯磨きセット
- キッチン関連／冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、電気ポット、IHコンロ、コーヒーメーカー、食器類
 ※ご要望により、鍋、フライパン、包丁、まな板を貸し出します。
- 飲料／宿泊人数分の飲料水とお茶。大人にはビール、未成年者にはジュースをご用意します。

暮らし“を実感できますよ。

無料体験宿泊所「木木庵」は、本格寄居造りの技と贅を尽くした日本家屋。温泉付きだから、好きな時間に湯浴みを楽しめます。和室リビング＆キッチン、寝室のみのコンパクトな間取りは使い勝手がよく、きっと家づくりの参考になるはず。

キッチンには電化製品等を用意しており、食事の持ち込みはもちろん、料理することもできます。まさに“杜の暮らし”を実感できますよ。

木木庵には電化製品等を用意しており、食事の持ち込みはもちろん、料理することもできます。まさに“杜の

無料体験宿泊のお問い合わせ、お申し込みは 美奈宜の杜販売センター ☎ 0120-005-337

あまぎ水の文化村 遊水パレット開放

美奈宣の杜の住民さんの散歩コースと
してもお馴染みのテーマパーク「あまぎ
水の文化村」では、9月まで「遊水パレ
ット」が開放されます。本館を閉むよう
に広がる小さなプール・遊水パレットは、
水深が大人のひざ下程度なので、小さな
子どもも安心して遊ばせることができ、
親子連れに大人気です。夏休みイベント
として、魚のつかみ取り体験やウォータ
ーバトル大会なども開催される予定なの
で併せてお楽しみください。

また、遊水パレット周辺にも、水が
流れる階段や音楽に合わせて噴水する
泉など、親水スポットがたくさん。夏
の思い出づくりに、家族みんなで出か
けてみませんか。

日本初夏の風物詩、蛍。梅雨に入
つたばかりの6月10日、螢鑑賞会が開
催されました。雨が心配された中、当
日は快晴に！ 気温も30℃まであがり、
絶好の螢鑑賞日和になりました。

鑑賞場所は例年と同じ、朝倉市の高
木地区。ここは、福岡県内でも有数の
螢スポットとして知られています。
当日はまず、たかき清流館でお食事
をいただき、夜のとばりがおりてきたり
ころ、バスで黒川沿いに移動。現地に
到着し、さっそく川面へと降りていき
ます。今年は例年以上に螢の姿が見ら
れ、時折光る「クリスマスツリー」の
ような螢の光には溜息が出ていました。
日本の美しい自然が残る、宝物のよ

うな風景がいつまでも続きますように
と、願った夜となりました。

螢鑑賞会



螢鑑賞を前にたかき清流館で、参加者そろって記念撮影。



◆お問い合わせ／0946-25-03
23(あまぎ水の文化村)

第19回

美奈宣の杜 夏祭り8月6日(土)開催決定!

◆日時／8月6日(土)17時30分～21時(予定)
◆会場／コミニティセンター中央広場

美奈宣の杜の夏を熱くする恒例のイベ
ント「第19回美奈宣の杜 夏祭り」が今年
も開催されます。住民の方々の創意工夫
によって繰り広げられるこの夏祭りは、
今や朝倉地区の皆さんも楽しみにしてい
ただけるイベントとなり、盛り上がりを
見せています。今年も住民の方々で構成
する夏祭り実行委員会の皆さんのがパワー
を集結させ、本番に向けて着々と準備中
です。

昨年は「子供御輿」の元気な掛け声と共に
に祭りが始まり、初登場の阿波踊りも加
わって一層賑やかに。クライマックスの
総踊り大会では会場が一つとなり、老若
男女の満足そうな笑顔があふれました。

踊りに参加したり、おいしいもの巡り
をしたりと、楽しさ満載の夏祭り。夏休
み中の子供様お孫様と一緒に、またお友
達をお誘いの上、心も踊る夏の一夜をお
過ごしください。

今年も住民さんのコンサートをはじめ
とする多彩なステージプログラムが用意
され、夏祭りらしい歌や踊りが会場を盛
り上げる予定です。



新入居者紹介



中村勝哉さん、美穂さん
(平成28年2月ご入居)2丁目住在住



「美奈宜の杜の第一印象は、とても立派な別荘地だな」というものでした」と、話してくれたのは、山口県で暮らす中村さんご夫婦。まだ現役で仕事を続ける勝哉さんと美穂さんは、2人そろって温泉好きで、お休みのときにはドライブや旅行を兼ねて子どもたちを連れ、九州の温泉めぐりをしていたのだが。

「九州の温泉はいろいろ巡りました。その中でも『杜の湯』の泉質は抜群! 何度も家族で宿泊に来ていたんですよ」

実は美穂さんは肌が弱く、アレルギーや肌湿疹などがよく出ていたとか。それが美奈宜の杜の温泉に入つて帰ると、湿疹が納まり、とても肌の状態がよくなつたのだそうです。

「定期的に通うようになりました。ここのお湯に入るとなじみの調子がいいので、かなり利用しましたね」と美穂さん。

勝哉さんはそれからインターネットで美奈宜の杜の物件をチェック。「いまはセカンドハウスとして、そして定年後はここに定住」と考え、体験宿泊をするなど、準備をスタート。それがある日、温泉付きの中古物件を見つけ、電話をしたのをきっかけに、現在の新居を手に入れました。

「この家は森に向かって露天風呂があり、とても気持ちがいいんです。温泉もいいので、まるでブチ旅館という感じ。定年までの時間も楽しい休日を過ごせる家になりそうです」と、すでに美奈宜の杜ライフを満喫中の中村家なのです。

秘密裏につくられた三奈木飛行場

美奈宜の杜地区コミュニティ協議会、社会教育部会主催の歴史講座が6月28日に開催されました。

坂井秀敏さん（6丁目住）が、たくさんの方々からの証言と取材、各機関の協力を基に「三奈木村に飛行場があつたころ」と題して3回目の講師を務められました。



当日は、あいにくの雨模様でしたが、会場には住民の方々と、取材にご協力してくださった方々も臨席され、50名近くになりました。入り補助イスが用意されるほどでした。

陸軍の記録を含め、三奈木飛行場（当時の名称は太刀洗東飛行場）の存在がはつきり記された文書は存在していません。そのため、当時の事を覚えている今年100歳になられる方や、証言をしてくださった6名の皆さんのが記憶、「太刀洗平和記念館」「甘木歴史資料館」の資料等で「三奈木村に飛行場」があつたことが分かりました。

しかし、三奈木村の飛行場は完成したのか? 滑走路の東端はどこだったのか? など、敗戦後すぐに開墾され農地となり、その存在が次第に地域の人々の記憶から歴史のかなたに消え去ろうとしている「三奈木飛行場」の未解明問題の研究はこれからも続きそうです。

歴史講座

音づくりの会 老人ホーム訪問

「はじめは下を向いていた方が一人、二人と顔を上げ、曲に合わせて一緒に口ずさみ、手拍子をして楽しんでくださるときはとても気分が良いのです」と音楽サークル「音づくりの会」代表の安成さん。会では、週1回の練習に加え、老人ホームなどの慰問コンサートに取り組んでいます。

現在メンバーは9名。ベンチやーツやスパイダース、美空ひばりといった昭和の名曲を中心には、スローテンポな曲とアップテンポな曲を織り交ぜたステージは毎回好評です。

4~5月に訪れた3施設のステージではアンコールを含め、各施設で8曲前後を演奏。「上を向いて歩こう」や「真っ赤な太陽」などは毎回好評です。



いしづえ荘



きらく荘

4・5月は3つの施設を訪問しました。

4月26日(火)

社会福祉法人 宏志会 きらく荘

5月14日(土)

住宅型有料老人ホーム 健生館みなぎ

5月21日(土)

社会福祉法人 朝倉恵愛会 介護老人福祉施設 いしづえ荘



健生館みなぎ

